

平成26年 2月21日

松山河川国道事務所

自然由来の重金属物質（総水銀・フッ素）の検出について （国道196号今治道路改築工事）

四国地方整備局松山河川国道事務所が事業を進めている「国道196号今治道路」において、施工中の切土部から自然由来の重金属物質である総水銀が検出されました。

1. 検出箇所

愛媛県今治市朝倉南地先（今治道路における切土部）

2. 検出内容

- ◆今治市朝倉南地先で施工中の切土部において、試料を採取し土壌溶出試験を行ったところ、2箇所のうち1箇所で環境基準を上回る自然由来重金属物質（総水銀）が検出されました。
- ◆検出濃度は環境基準の0.0005mg/Lに対し0.0016mg/L。

3. 現在の状況

- ◆総水銀が検出された地山の切土工事で発生した土砂については、これまで同一事業箇所である今治道路の古谷地区から朝倉南地区に搬出し、仮置き及び盛土を行っている状況です。
- ◆現在、搬出先の仮置き及び盛土材料に総水銀が含有されていないか確認するため、試料を採取し溶出試験を行っているところです。
- ◆仮置き及び盛土材料の溶出試験結果が判明するまで、搬出先の土砂からの溶出を防止するため、シートによる被覆を実施中です。
- ◆切土及び盛土周辺における24箇所の地下水（井戸）調査を行ったところ、全てにおいて基準値以下であることを確認しています。

— 問 い 合 わ せ 先 —

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長(道路) おきうえ しげと 沖上 茂人 （内線205）

電話：089-972-0034

◆経緯

- ・隣接する朝倉トンネルは、花崗岩にヒン岩が貫入する特殊地質であり、自然由来の重金属物質の含有が想定されていたため調査を行ったところ、総水銀、フッ素が検出されました。

このため、すでに工事着手している近隣の切土部においても、同物質が含有されていないか確認のため調査を行ったところ、朝倉南地先において環境基準を上回る総水銀の含有が確認されました。

なお、朝倉南地先における切土工事で発生した土砂については、これまで同一事業箇所である今治道路の古谷地区から朝倉南地区に搬出し、仮置き及び盛土を行っています。

◆工事概要

- ・朝倉南地先における切土工事（約130m）
- ・古谷地区から朝倉南地区における盛土工事（約3,300m）

◆自然由来重金属物質の検出結果（別紙1参照）

◆現在の状況

- ・現在、搬出先の仮置き及び盛土材料に総水銀が含有されていないか確認するため、試料を採取し溶出試験を行っているところです。
- ・今治道路における盛土工事を一時中止し、仮置き及び盛土材料の溶出試験結果が判明するまで、搬出先の土砂からの流出を防止するため、シートによる被覆を実施中です。
- ・切土及び盛土周辺における24箇所の地下水（井戸）調査を行ったところ、すべてにおいて基準値以下であることを確認しています。

位置図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平20 四複、第64号)」

自然由来重金属物質の検出結果

調査地点	H22.12.1～3(採取)		H25.11.7～16採取		H26.1.28採取	
	総水銀 (mg/L)	フッ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	フッ素 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
①朝倉トンネル部	ND	1.2				
②朝倉トンネル部			0.0010	0.5～2.1		
③朝倉トンネル部			ND	1.1～3.8		
④切土部(花崗岩強風化部)					0.0016	ND
⑤切土部(花崗岩風化部)					ND	ND
定量下限値(mg/リットル)	0.0005	0.2	0.0005	0.2	0.0005	0.2
基準値(mg/リットル): 以下	0.0005	0.8	0.0005	0.8	0.0005	0.8

ND: 定量下限値未満

黄色: 定量下限値以上, 基準値未満

桃色: 基準値以上

今治道路 朝倉南地区(切土及び盛土工事)

